

芦川永光、 結婚しました。

不肖、私、芦川永光は
結婚をいたしました。
お相手はご存知、デザイナーの
坂井です。2013年の最後に、
ちょっとだけサプライズ
となりましたでしょうか？

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたお客様にお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

52号 平成25年12月発行

発行:株式会社 感動・創庫
〒259-1106 伊勢原市善波1219-1
TEL:0463-93-9780
FAX:0463-79-9778
mail:info@kando-soko.com
http://kando-soko.com
発行編集責任者: 芦川永光

こんにちは。急に冷え込みが強まって、冬服を引っ張り出したところセーターが穴だらけ。ムシューダの「おわり」の文字にがっくり…、芦川永光です。ひと夏飛び越えて、お久しぶりとなりました「つるのおんがえし」です。

さて、改めてご報告です。芦川永光、7月7日に結婚をいたしました。相手は感動・創庫のデザイナー、坂井涼子です。前職場の同僚として、同期で入社をしたのが2003年の7月。ちょうど11年経って結婚とは人生いろいろ、分からんもんです！ここから夫婦としても「てんとう虫のサンバ by チェリッシュ」(古っ!)のように明るく仲良く。そして来年はうま年、ならば二人三脚で「天馬空を行くがごとく」で駆け抜けたと思います。2014年、感動・創庫の第2幕は、『やりたいこと全てをカタチに』。一大プロジェクトで盛大にスタートします。私たちが感動で商売繁盛のうねりの中心を作りますので、ぜひ楽しみにしてください。

【つるのおんがえし】丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

ポートダグラス

ケアンズ市中心から車で一時間のリゾートタウン。レンタカーを借りて、海岸沿いを100キロで大爆走。気持ちよかった…。大人のリゾートらしく、夜はバーで音楽を聴きながら、肉とチップスをビールで流し込みまくりました。英語でオーダーも出来るようになりました。



キュランダ

オーストラリアの箱根!?的な小さな町。熱帯雨林に囲まれた場所です。近くにある世界遺産のバロン滝(Balon falls)や歴史ある鉄道も有名です。



アゴだけ
スーパーマン
だね!! (英語)

巨大蟻塚

草も少ない乾燥地帯にこんなに大きい塚がいくつもあります。中で動いているアリを食べるといって食べたら、芝生の味がしました。



ロックワラビー

小さいカンガルーといった感じ。ブルースが麦を買っておいでくれたので、みんなで餌付け。爪が鋭くてひゃあ!となりました。



オーストラリアで気付いたのは、公共の場が綺麗なこと。税金を雨のように降らせている「mate(マイト=仲間)」のお国柄らしいなあと思いました。

ランチタイム

ガーデン・フィグ・ツリー

800年の年月をかけて枝と根を伸ばしていった自然の芸術!!!「パルス!」後の天空の城ラピュタよろしく、根が下へ下へ伸びまくります。中を覗くと陽の光が射し込み、まんま「飛行石だぁ〜、とびきりデカイやつ!」でしたよ。



夜行動物が目の前に来てくれました。なでなでも逃げません。めちゃくちゃカワイイ!



マイベストフレンド
ブルース&みさみさご
夫妻。ちなみにみさみ
さは小学校の同級生な
のです。

オーストラリア ケアンズ旅行記



11月初旬から中旬にかけて、オーストラリアへ行ってきました。6年ぶりの長期休暇と新婚旅行。そしてわずかにビジネスのお話も…。11月なのに半そでオンリー、紫外線が日本の7倍というジリジリ暑いケアンズ。日焼け止めが非課税なのも納得でした。ここに住む友達にガイドをしてもらい、日本の22倍デカイ国をあちこち見て回った「ケアンズ旅行記」。日本の素晴らしさも再認識できる、有意義な旅でした。

グレートバリアリーフ

ミコマスケイ(ケイ=サンゴで出来た島)という場所でダイビング&シュノーケリングをしました。酸素ボンベが怖いっとななくて…。インストラクターさんを困らせたチキン野郎です。とにかく半端ではない海の透明度でした。また行きたい!



ケアンズの街

マディーズ公園にて、maddy(泥)の意味は、戦争中に港を行き来する軍艦の航路を確保するために、泥を運んできたのだそうです。「たぶん、綺麗な海岸だったと思うよ〜」と日本語でブルース談。



BBQグリルが公園内にあって、しかも無料で使えるんです。さすが、オージービーフの国!



パラネラパーク

スペイン移民のホセ・パロネラさんの夢が形になったパーク。ガイドさんが語る彼の夢実現ストーリーに感動。素敵なプレゼントも頂きました。俺もやるぜ!って気持ちになりました。



心に響く
感動の格言

人は、人がよろこんで笑う声を聞くのが一番うれしい。だから、人がよろこび、笑い声を立ててくれる漫画を長く描いてきた。

自分が描いた漫画を読んで子どもたちがよろこんでくれる。その様子を見て、自分がうれしくなる。

こうしてよろこばせごっこができることが本当に幸せだ。

あなたは何をして、よろこばせごっこをしていますか？

bノヤなせたかし



2013年を締めくくる「感動の格言」は、先日亡くなられた漫画家、やなせたかしの温かいメッセージです。よろこばせごっこ、素敵な遊びですよ。ここ数年、真面目すぎて面白くない自分でしたが、結婚後、少しずつ変化してきました。喜ばせると、自分に跳ね返ってくる楽しさがある事を改めて実感しています。来年の目標はよろこばせごっこ100回ノ何かが100回は、僕の中だけの目標ですが、お客様の喜びは100個以上増やしたいと思います。来年はみんな、よろこばせごっここの輪、作りましょうね。

編集後記

今年の夏ごろ、スピリチュアル関連の事業をされている飲み友達に、海外市場に太いパイプを持った会社さんをご紹介いただきまして、ひっそりと輸出販売事業を始めました。普段から大変お世話になっているクライアント様から素晴らしい商品を提供していただいた事で実現出来た、感動・創庫待望のノウハウ実践の場所です。

オーストラリアに飛んで、ビジネスについて話し合っていたのは実はこのビジネスについてでして、ブルース夫妻がオーストラリアイギリス。私たちが東アジア圏と、この事業でヨーロッパまで結んでしまおうという壮大なもくろみです。販売事業の難しさはクライアント様のこれまでご苦労を思えば、当たり前なことと理解した上で、楽しみたいと思っております。勝算が大いにある事業ですので、この成功事例はバンバン皆様と共有して行きたいと思えます。

オーストラリアにいて思ったのは、グローバル時代といっても、私たちは国内で十分に商売が出来る環境にあると思いました。オースト

ラリアは確かに広くて、何もかもがデカイ。でも、食い物は旨くない上に、出てくるのも遅い！日本は狭い、どこに行っても混んでは。それでも何よりメシが旨い！ホスピタリティも抜群！人口密度が高いといふことは、お客様と接触出来る回数が多いのも、商売をしやすい日本の特長です。

これは私の感じたままですがグローバル化を憂うより気付けべきは、同業者に留まらない競争の存在だと思います。今や私たちにとっての競争は、この世の「お金と時間を奪うすべて」になりました。例えばテレビを見るかわりに、外食に行かない。学生はバイト代の大半を携帯電話代につぎ込み、今やバイクは若者の定番ではなくな

りました。ネットゲームは外出する人を減らし、店舗で商売をする人の客足を奪います。時間を奪い合うとは、そういうことです。

「時間」への価値観が強い時代と言えば、「24時間戦えますか」の頃。バブル時代です。もしかしたら2014年はそれに似た環境になっているのかもしれませんが、そんな時間重視の時代に、どんなマーケティングがふさわしいか。来年は集大成として、皆様に示したいと思えます。ということ、今年一年、多くの皆様に支えていただき、厚く御礼申し上げます。来年も感動・創庫、並びにいせはらポストに変わらぬご声援をお願いいたします。どうか良い年をお迎えください。

